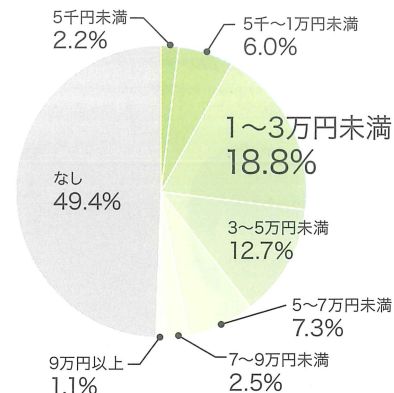


[アルバイト]

「遊ぶお金は自分で稼ぐ」のが北大流。

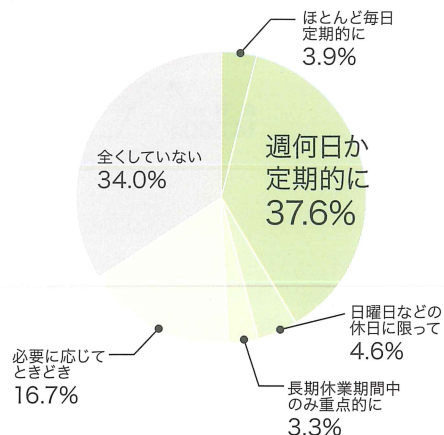
北大生の6割以上がアルバイトをしています。職種は、飲食店店員、家庭教師、塾講師が多数を占めています。アルバイト収入の使いみちは、娯楽・レジャー費（交際費を含む）が最も多く、次いで食費となっています。週平均就労時間は5時間未満が最も多く、週1～2回の定期的なアルバイトをするのが一般的です。札幌市内には、進学校が多く、進学塾も多いため、塾講師や家庭教師は引く手あまた。また、飲食店やスーパー、デパートなども多く、アルバイト先に困ることはありません。イベントも多いため、週末を利用してイベントスタッフなどの単発のアルバイトをする学生もいます。ライフスタイルに合わせて、いろいろなアルバイトを経験してみるのもいい社会勉強になります。

1か月のアルバイト収入

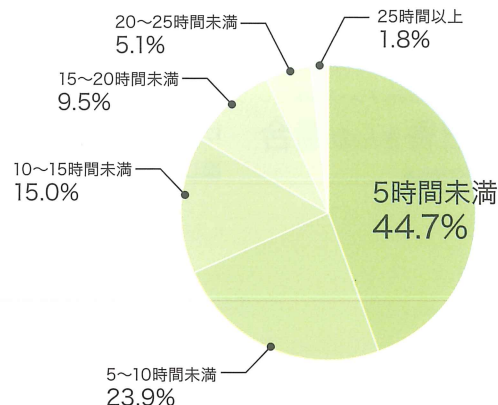


※1ヶ月のアルバイト収入は、学生生活実態調査回答者のうち、自宅通学者を除く722名のデータを集計したもの。

アルバイトの頻度



アルバイトの週平均就労時間



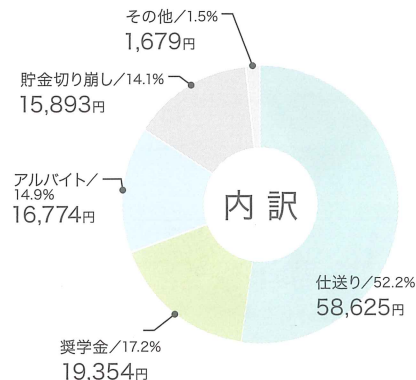
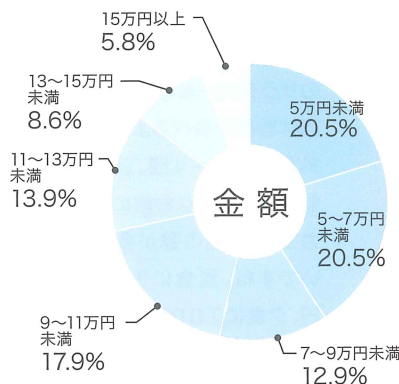
[収入・支出]

仕送り&奨学金で節約生活。 アルバイト代はレジャー& 交際費に。

ひとり暮らしの北大生は、仕送りと奨学金を主な収入として、そこから生活費を支出し、交際費やレジャー費はアルバイトで稼ぐというのが一般的です。仕送りの方法も多様化し、一定金額を月1回もしくは年1回家族から送金してもらう方法や家賃・水道光熱費等の住居に関する費用を家族に直接負担してもらう方法などさまざまです。仕送り方法によって、やりくりの仕方も違ってきます。ひとり暮らしは、しっかりとした経済感覚を身につけるよい機会となっています。

北大生の1か月の収入は、平均11万円程度。約半分が家庭からの仕送り、残りの半分が奨学金・アルバイト等によるものです。1か月の支出も平均11万円程度で、その4割を家賃と水道光熱費が占めます。食費は2万円程度で、教養娯楽費（交際費を含む）は1万5千円程度が一般的です。

1か月の平均収入 [平均総額/112,325円]



1か月の平均支出 [平均総額/109,361円]

